



第377号

発行  
浄土真宗  
心光寺  
奥原曇龍  
倉敷市早高426  
☎(086)420-1311



# 安心な未来を



カット：本多 紘子

梅雨入りが岡山県では例年より一ヶ月も早く入り、爽やかな五月晴れの日が恋しいですね。全国的に新型コロナウイルスの変異株による第4波の感染が広がり不安な毎日ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

東京や大阪などの大都市に緊急事態宣言が出され、商業施設や飲食業の店が休業や時間短縮を要請されていますが、まさか地方都市の岡山県でも5月16日に緊急事態宣言がでたのには驚きました。感染者が治まりかけていたが、ゴールデン・ウィークのとき県外の旅行者が岡山県の観光地で大勢遊びに来て、変異株のウイルスを持ち込んだようです。1日に突然100人以上が感染し、多いときには200人を超え、病院などの医療が逼迫し、緊急事態宣言となりました。愚僧はワクチン接種が1日でも早く進むことを願うばかりです。

開幕まで二ヶ月あまりとなる東京五輪・パラリンピックが、日本の感染拡大による異常事態に、国民の多くが開催を延期・中止を臨んでいます。しかし菅総理は五輪の実現を目指し、ワクチンの供給を増やし、開催を成功させたいと願っています。医療従事者がまず先行接種し、次に高齢者の順番ということですが、米ファイザー製のワクチンしか承認しておらず供給が少なく、接種の順番が遅れました。そこで

\*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

政府は急遽5月21日に他の二つのワクチンを厚労省で承認し、7月中旬に高齢者のワクチン接種を遂げて、五輪を強行しようとしています。しかし緊急事態宣言の出ている東京で安全・安心な大会が本当にできるのか疑問です。登山のとき、天候に異常を感じると頂上を断念し下山する勇気がありますが、菅総理も悩みは深いことです。

建設現場で「夢の建材」とまで言われ、建材業者に重宝された『アスベスト（石綿）』を吸って健康被害を受けた作業員と遺族による訴訟で、5月17日に最高裁で国と建材メーカーの賠償責任を認める判決を出しました。アスベストは天然の鉱物繊維で熱や薬品、摩擦に強く、建設資材用などとして多くの産業で使われました。吸い込むと肺に定着し、肺ガンや中皮腫、石綿肺などの病気を引き起こします。発症までの潜伏期間が数十年に及ぶこともあるから「静かな時限爆弾」とも呼ばれました。国は1975年に発ガン性物質として規制しましたが、製品の製造や使用を禁じたのは2004年のことです。人間が便利さと豊かさを求めすぎた結果が、多くの人の命を奪いました。

地球上で乾燥が激しく砂漠化したり、反対に集中豪雨による浸水や台風による河川の氾濫で家屋が流されたりするのも、人間が便利さと豊かさを追求した地球温暖化の結果です。石炭や石油などの化石燃料を燃やすと二酸化炭素が発生し、大気中に温室効果ガスが増えすぎて地球が温暖化しているのです。

フロンガスは1930年代に開発された化学物質です。無色無臭で不燃性であり、冷却や噴射に便利だったので冷蔵庫やエアコンに使われたが、大気中のオゾン層を破壊し、太陽からの紫外線が届きすぎて皮膚癌になることが判明。夢の物質が、公害だったのです。

私たち人間は、どういう世界を理想として歩んでいるのだろうか。人間は便利さと豊かさを求め過ぎ、反って生活のために競争が激しくなり過ぎて自分を見失いつつあります。安全で安心な未来は、手を合わせ生命を大切にする優しさから生まれるよ。合掌（奥原 曇龍）

『安全で安心な未来残そうよ 手を合わせれば優しさ生まれる』 どんりゅう

日時・六月 九日「水曜日」 午後一時半から午後四時頃まで。

仏教講話『歎異抄（たんにしょう）から学ぶ』

場所・倉敷市早高426 新本堂 電話086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方

[心光寺 倉敷 検索](#)



カット：奥原 綾

## ともしび説法



# お釈迦様ものがたり

ニグロダは出家のバラモンで、常に三千の弟子を持ち、彼らと共にマガダ国の首都である王舎城の修行林に住していました。

この頃、この城の家長で有名な仏教信者にサンダーナがいました。彼は毎日お釈迦様を郊外の霊鷲山に訪ねていました。有る朝早く彼は家を出たが、今の時間は弟子たちと座禅をしておられるから、訪ねるべきではないと考え、寄り道をして、バラモンの修行林にニグロダを訪ねます。

バラモンたちは大声で、世俗のつまらない種々の議論をしていたが、サンダーナがやってくるのを見て、静粛になった。ニグロダは、お釈迦様に偏見を持っていたので、その智慧は空処に偏っているの、人間を真の幸せに導かない。もしゴータマ(お釈迦様)がここに来たら、自分は彼を導くだろうと大言壮語して、サンダーナに伝えました。

やがてお釈迦様はこの修行林の近くの園林に来て、静かに散歩されていました。これを見たニグロダは、頭を低くしてお釈迦様を招待し、仏教が実践している苦行について質問をします。お釈迦様は苦行を詳細に分類して説明され、それが理想の道でないことも語り、むしろ仏教的な四種の苦行をなすことによつて、そこから次第に理想が達成されることを説かれました。

バラモンの弟子達は大いに感心し、彼らの師ニグロダと比較にならないことを知る。ニグロダも自分が無知蒙昧であったことを告白し、サンダーナに謝りました。

お釈迦様は、ニグロダを論破して彼の無知を暴露し、彼に恥をかかせたのは、ニグロダの弟子を奪おうとか、彼の生活を脅かそうとかの為でなかった。無知不善を断じなければ、未来の苦報を受けるのであるから、彼らが正しい智慧経験を得て、苦悩のない平和な境地を願ったからです。合掌(奥原豊彦)

濡れながらツバメも蛙も嬉しそう 一人たたずむともしびの寺 田辺多恵子



4月18日 心光寺春の永代経法要にて参詣者

## ともしび法話

梅雨に入り、紫陽花の花やカエルが喜んでいます。ジトジトした天気は、洗濯物が乾かず辛いですが、皆様お元気ですか。5月10日からいよいよ新型コロナウイルスのワクチン接種が一般高齢者に始まりました。早く感染症が治まることを願っています。心光寺坊守(ぼうもり) 奥原 博子

五月晴れの緑が美しい気候にもかかわらず、コロナのために外出自粛で喜びが半減です。このたびは『ともしび誌』を送って下さり、私たちが画いたお釈迦様の壁画を本に載せて下さり有り難うございました。京都市左京区 福林 加奈

あつという間に4月から5月になりました。春の永代経法要には参加出来ませんでした。心光寺の牡丹の花を見たかったです。心光寺の三人のお子様達も、それぞれ立派に成長しお会いしたかったですね。倉敷市西中新田 東 民子

『大丈夫 大丈夫 きっと上手くいくよ やれることをやっつけよう』 総社市中原 上田 高美

# ともしび説法

日時・六月 九日「水曜日」 午後一時半から午後四時頃まで。  
 場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて  
 電話・(086)420-1311 駐車場有り  
 (宗派をとわず、まじめに人生を考えているあなたに参加していただきたいのです。)

○ともしび説法・お寺の行事予定

- 七月 七日(水)・午後一時半から午後四時・早高の本堂。
- 八月二十一日(土)・午前十時から昼十二時・早高の本堂。
- 九月 七日(火)・午前十時から昼十二時・早高の本堂。

☆『ともしび』を平成24、26年、平成27、29年、平成30、令和2年と三年ごとにまとめて本としました。毎月1回のお寺の新聞が本となつて、過去の忘れていたニュースを思い出し、人生を振り返れますよ。まとめた本が欲しい方は実費でお分け致します。

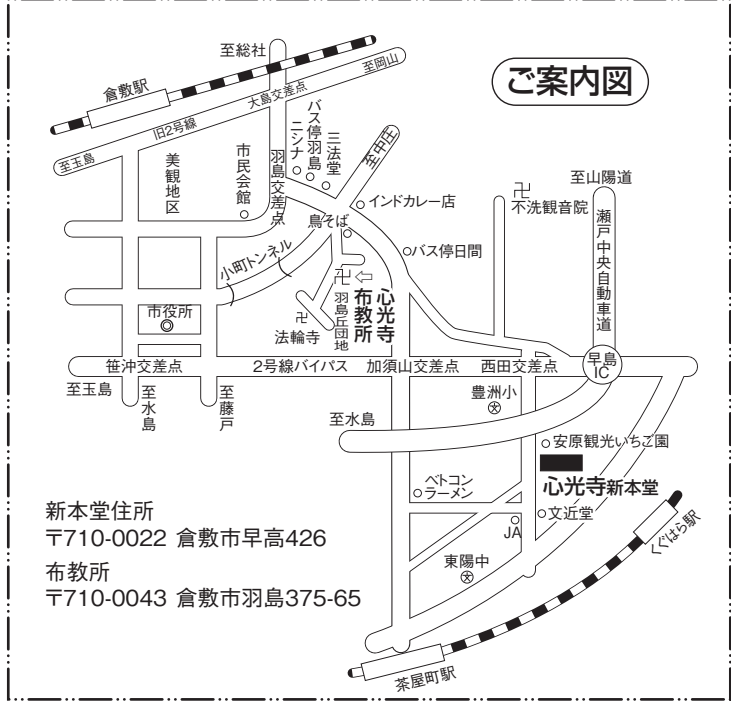


## つばめの詩

ツバメが水田の上を飛んでいる  
 早々と五月半ばに梅雨入りだ  
 ひとり静かに本を読みながら  
 降りつづく雨に気が滅入る  
 へらへらとカラ元気をだすが  
 ほころびだらけの我が人生に  
 道しるべの石も濡れつつ微笑む



カット:吉岡美枝



- ◎ともしび制作費に御寄付ありがとうございました。
- 倉敷市 青木様 橋本様 3千円
- 倉敷市 大島様 松原様 敷田様 4千円
- 倉敷市 大野和子様 高橋マスコ様 5千円
- 倉敷市 東民子様 岡山市 藤岡秀男様 1万円

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。お葬式の時にあわてて葬儀屋さんを紹介してもらいより、自分でお寺は決めよう。

〒710-0022 倉敷市早高426  
 浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺  
 TEL(086)420-1311 FAX 420-1322  
 携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「377号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。ともしび説法の日には、茶屋町駅西口に12時30分に、お寺より自動車でお迎えに行きます。自動車の送迎が必要な方は心光寺まで、ご連絡下さい。合掌 心光寺 総代長 本家豊彦